

マニラ事務所

主な活動

日本映画祭の実施（年2回）
日本の伝統・現代音楽の紹介
日本語教師に対する支援
日比友好祭で各種事業を実施
英文ニューズレター
「JFManila News」発行

歴史的にも、また人的交流の面でも深いつながりをもつフィリピンにおいて、2004年度は日本に対するイメージアップを目的に事業

を展開しました。将来の日比交流の担い手となる若年層を対象に「日本映画祭」や「落語（英語）」公演を実施。日本文化に触れる機会を設けました。東南アジアの中でも高いレベルにある舞台芸術の分野では、日本の優れた演奏家を招いて現地の演奏家と共演、相互交流を実現しました。日本語教育の分野では、日比経済連携協定締結への動きを背景とした、IT技術、看護・介護分野における日本語教育へのニーズを受けて各種事業を展開。また、事務所による日本語講座開設も視野に入

れ、日本語教師に対する支援も実施しました。



新田弘志・昌弘（津軽三味線）
Making Ensemble ジョイントコンサート

ニューデリー事務所

主な活動

HP開設および広報活動
北東部州で基金初映画祭
歌舞伎レクチャー公開演技等
文化事業
南アジア現代演劇公演、
インドトリエンナーレ展
デリー日本文化月間参加協力

ホームページを開設し、イメージアップに取り組んだと共に、基金事業の拡大をめざし

て、2004年度、北東部アッサム州の2都市で、基金初となる日本映画祭を実施することに成功しました。また、写真家・橋口譲二氏のワークショップの模様を伝える展示会や、中村鷹治郎役者一行による歌舞伎レクチャーデモンストレーションをアレンジするなど、インドの市民層に対して、幅広く日印交流事業を展開することに努めました。11月には、日本大使館が行なったデリー日本文化月間へ参加・協力し、日本研究・知的交流事業では、新規案件を発掘。日本語事業では、インドの

IT産業進展などを背景とした、日本語教育熱の高まりに対するサポートを行ないました。



橋口譲二氏のワークショップ展示会

ニューヨーク事務所

主な活動

ニュースレター・ホームページの改定
新規在外自主事業の立ち上げ、
他団体との共催事業の実施
日米交流150周年記念事業への協力
AAC、PAJの事務局運営

ニュースレターとホームページを一新し広報ツールの強化を計るほか、「日本現代文学紹介事業」と「在米日本文化専門家中南米派遣」の2つの新規自主事業を開始しました。日米交

流150周年記念事業には事務所も積極的に参加。巡回映画祭、PAJ（パフォーミングアーツ・ジャパン）も地方都市での文化交流に貢献しました。新規事業である外部機関との共催事業では、NY市立大学と共催した「太平洋序曲」の演出家宮本亜門氏とジョン・ダワMIT教授との対談を実施し、話題を呼びました。対米日本研究公募プログラムの審査委員会であるAACやPAJでは活発な議論が交わされました。また、APAPをはじめ主要芸術見本市で舞台芸術の情報提供も行ないました。



宮本亜門氏とジョン・ダワ教授の対談

ロサンゼルス事務所

主な活動

日本語教育の推進・支援
にほんごライブラリー運営
日本語能力試験実施
西部13州対象の日本文化 /
芸術事業の推進・支援
定期刊行物Breeze Wahoo! 刊行

2004年、米国で大きな影響力を持つAP（Advanced Placement）プログラムに、日本語が導入されることが決定しました。それに

伴い、基金は開発費の半額を助成すると共に、APカリキュラム・試験問題開発への協力と、プログラム導入後に備えて基盤整備に着手しました。具体的には、教師間のネットワーク拡充と各州における教育環境向上を目的として、全米の日本語教師会の代表者を集め、「第1回全米日本語教育シンポジウム」を開催したほか、日本語プログラム導入のメリットを、教師や行政担当者、保護者に働きかけるため、APプログラム特別冊子を付け加えた日本語教育Advocacy Kitを全米の主要機関へ

配布しました。



ロサンゼルスで開催された第1回全米日本語シンポジウム